

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用者によって特性も様々なので、担当する指導員や同じ時間帯の利用者同士の組み合わせなども配慮し対応している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			今後も適切な基準人員を満たした運営をおこなっていく
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	外階段が急なため、階段上にマットを敷き滑りにくくしている
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			目標設定と振り返りに関しては、社内の業績評定シートを活用しながら、定期的の上長との面談を実施している
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様からのご意見（苦情等も含む）があった時には全体で共有し原因と対策について検討する体制がつけられている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HP 上での公開と事業所内でファイル保管をし、いつでもご確認頂けるようにしている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			評価を受け、その結果をもとに職員全体で見直し、改善に取り組んでいる
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に発達研究所が主体となる研修が行われ、参加の機会も得られている
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援計画立案の為に面談を行い、保護者様のニーズの聞き取りや支援の提案をしながら進めている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			毎年、共通のアセスメントシートを用いて、お子様の成長について共通認もっている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			プログラムごとにチームに分かれて取り組み、話し合いを経て内容を決定している
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子様に飽きがないように様々な教材を使う工夫を行っている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			個熟療育を行う中で、長期休み期間などはお子さまによってニーズが変わる場合があるので柔軟に対応をしている。また、ご希望される方に小集団のプログラムも随時案内をしている
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		イベント的な小集団プログラムや、就学準備、SST等の療育的なプログラムなども希望を募りながら提供している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			社内の共有ツールを活用し、必要な情報はその都度共有し、全員が把握できるようにしている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			利用状況によるところだが、可能な範囲で職員間の共有の場をつくっている

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			社内で運用している WEB 上での支援記録のツールを活用している。必要に応じて、利用者の記録の取りまとめや、職員間の共有の手段として活用している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			お子様や保護者様に聞き取りを行い、現状の困り感などを確認した上で個々の支援計画を作成している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			活動内容に偏りがでないよう課題を通して、複数の目的・目標の組み合わせを検討しながら進めている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。場合によっては指導員も同行する
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		送迎については当事業所では行っていない。関係機関連携において、学校と連携をしているお子様については、行事予定などの確認を行っている。それ以外に関しては、保護者様から直接確認したり、学校のHPから情報収集をしている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当児童なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者同意の上、必要に応じて就学先の学校に支援記録を提供し様子を共有している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現時点では該当児童なし。ただし、今後のニーズにお応えができるよう、地域の就労支援事業所との関係づくりは進めていく
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	地域のリハビリセンターの研修等に参加し、学んだことは教室内で共有している
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現状、交流をする機会はない
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			地域の情報を把握し、地域との接点を今後も増やしていく
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			より短期的な目標設定をし、療育の達成度を分かりやすくするため、支援計画以外の独自のツールを用いて共通理解を図っている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	内部・外部研修を行い、保護者様のニーズを踏まえて対応を検討していく
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご契約時、また受給者証の更新時など、保護者様が理解しやすいよう丁寧な説明を心掛けている
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			事業所内相談支援の時間を作り、その中でじっくり話を聞ける環境を作れるよう心掛けている
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	感染症などの状況に配慮しながら、今後も保護者のニーズを確認しながら保護者会の開催を検討していく

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所内におけるご相談事や申し入れについての窓口については契約時にご説明。管理者が中心となり、ご要望等については対応している
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			イベントのチラシ等を作成し、教室内に掲示したり、LINE や直接のお声かけで周知を行っている
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			利用者の個人情報に関しては個別にファイリングし、事務室のロッカー内に保管。また写真撮影に関しては個人情報の同意書での署名と適宜確認を行っている
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			お子様の特性に合わせた伝達手段が選択できるよう、可能な限り教材の整備を行っている
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の情報を把握する手段が限られている。今後、どのような媒体から発信があるか確認をしていく
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			特に疾患をお持ちのご利用者に関しては、他の利用者の感染症の連絡があったタイミングで、速やかに情報提供を行っている（個人情報に配慮して）
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月、様々な状況を想定した避難訓練を実施している。必要に応じて利用者にも参加頂いている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員会の方針に沿って、伝達講習や事例検討を行っている
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			権利擁護委員会の方針に沿って、伝達講習や事例検討を行っている。身体拘束に関する事項については、個別支援計画に記載している
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事の提供は行っていない。今後、提供する場合は内部のマニュアルに沿って対応していく
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険を感じたケースがあった場合、速やかに報告書を作成し、全体への共有と再発防止に役立っている

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」宇都宮海道 校 保護者等数（児童数）： 50 回収数： 43 割合： 86%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38	5		<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ系（運動）するには手狭かもしれない ・一人一人個別学習なので、仕切りにより集中できるので良い ・パーテーションなどを使い、お子様が活動する場所を把握しやすくしている。また、クールダウンとして相談室スペースなども活用している
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	36	7		<ul style="list-style-type: none"> ・職員によってややバラつきを感じる ・職員の方がとても多く、手厚くみてる ・適正な基準人員を満たした勤務体制で運営をしている
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	16	7	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の日は少し怖いときがある（滑るため） ・2階にあるので自力歩行できれば問題ない ・外の階段が急で、雨の日には水もたまり滑りやすく少し危険を感じます ・賃貸物件の為、建物の改修等については管理会社と要相談。ご意見、ご要望に関しては真摯に受け止め、可能な範囲で対応を行っていく
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	41	2		<ul style="list-style-type: none"> ・どういうことをしてほしいか毎回、作成時に聞いてくれて反映してくれている ・個別支援計画については、事前にお子様、保護者様の要望を確認し、その上で事業所としての見立てを行っている
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	39	4		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも分かりやすく説明をしてくれる。こどもの発達に合わせて行って頂けてとても満足している ・個別支援計画の内容に則り、お子様の成長過程において、その都度適切なプログラムを提供できるようにしている
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	19	14	<ul style="list-style-type: none"> ・特に希望していない ・今後、ご利用様のニーズを踏まえて検討していく
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	2		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に契約書・重要事項説明書の内容をもとに、保護者様の不明点などを確認しながら説明を進めている
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	41	2		<ul style="list-style-type: none"> ・日々変化のお子様の成長に合わせて、保護者様との対話する時間を大切にしている。課題については、すり合わせを行い、必要に応じて支援に取り入れている
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援後のフィードバックや事業所内相談支援の機会を設け、お子様の支援と合わせて保護者支援にも力を入れている
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	14	18	11	<ul style="list-style-type: none"> ・今後のコロナウイルス等の感染状況に配慮しながら、保護者会の開催を定期的に行っていく
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	7		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情はなし ・管理者が中心となり、お子様や保護者様のご意見・ご要望についてはできる限り迅速に対応していく

	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	40	3		・LINE など活用し、それぞれの生活状況に応じてご要望などを伝えることができる環境を提供している
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	37	2	4	・イベント案内、空き情報等、いつも参加したいと子供が楽しみです ・ホームページや SNS 等で定期的に事業所からの情報を発信しているので、ご周知頂けるよう工夫をしていく
	⑭	個人情報に十分注意しているか	41	2		・ご契約時に個人情報の取り扱いについての説明を行い、同意書にサインをいただいている
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	36	5	2	・各種マニュアルに関してはファイリングしていつでも確認ができるようにしている。また、避難訓練に関しては、事業所内に掲示している
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	34	9		・月ごとにテーマを決めた避難訓練を実施している。また、お子様にも協力頂き、実際の避難を想定した訓練も定期的に行っている
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	40	3		・すごく楽しみにしています ・毎回、とてもたのしみにしており、「行きたくない」と言うことはない ・お子様自身が自信をもって日常の生活を送れるようなサポートを今後も行っていく
	⑱	事業所の支援に満足しているか	40	3		・親身になってご対応いただいています ・いつも丁寧なサポートに感謝しております！ ・先生によって分かりやすい、分かりにくいがある。親への説明においてもあるように思う ・とても満足している勉強ややり取りなど、細かくみていただけている ・とても丁寧に支援していただき感謝している。また、学校とも連携を図ろうとしてくれたりと、細やかな支援がとてもありがたい ・研修等を実施しながら、ご利用頂いているお子様や保護者様の困り感を少しでも軽減できるように、今後も事業所として質の向上が図れるよう努めていく

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。